

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3141476号
(U3141476)

(45) 発行日 平成20年5月8日 (2008.5.8)

(24) 登録日 平成20年4月16日 (2008.4.16)

(51) Int.Cl. F 1
E O 4 H 9/02 (2006.01) E O 4 H 9/02 3 2 1 B

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号 実願2008-1354 (U2008-1354)
(22) 出願日 平成20年2月8日 (2008.2.8)(73) 実用新案権者 508072246
株式会社エス・エイ・エヌ
千葉県松戸市新松戸4丁目65番地1号
和光新松戸ビル6F
(72) 考案者 板倉 三男
千葉県松戸市新松戸4丁目65番地1号
株式会社エス・エイ・エヌ内

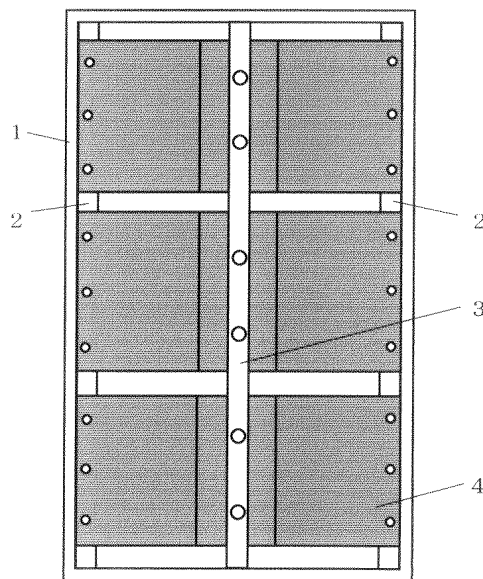
(54) 【考案の名称】 制震装置一体パネル

(57) 【要約】

【課題】 木造建築物の壁面構造に使用される制震パネルに関し、現場で建物の軸組内空間にはめ込むだけで容易に施工できる制震装置一体パネルを提供する。

【解決手段】 本考案の制震装置一体パネルは、構造用単板積層材製の方形枠状の外周フレーム、及び制震装置、を有する制震装置一体パネルにおいて、この外周フレーム1の左右一対の縦枠それぞれの内側面全長に構造用単板積層材製の角材を密着した制震装置取り付け部2を設け、さらに該外周フレーム1の上下一対の横枠の中央部間に構造用単板積層材製の角材を縦に渡して中柱3を設け、粘弾性体固着部を有した面状鋼板製の3基の制震装置4を、前述外周フレーム1内に設けた左右の制震装置取り付け部2及び中柱3に、該横枠と平行になるよう上下に並べてそれぞれを設置しネジで固定して備え付け、外周フレーム1と制震装置4が一体に備わることを特徴とした。

【選択図】 図4



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

構造用単板積層材製の方形枠状の外周フレーム、及び制震装置、を有する制震装置一体パネルにおいて、この外周フレームの左右一对の縦枠それぞれの内側面全長に構造用単板積層材製の角材を密着した制震装置取り付け部を設け、さらに該外周フレームの上下一対の横枠の中央部間に構造用単板積層材製の角材を縦に渡して中柱を設け、粘弾性体固着部を有した面状鋼板製の 3 基の制震装置を、前述外周フレーム内に設けた左右の制震装置取り付け部及び中柱に、該横枠と平行になるよう上下に並べてそれぞれを設置しネジで固定して備え付け、外周フレームと制震装置が一体に備わることを特徴とする制震装置一体パネル。

10

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、木造建築物の壁面構造に使用される制震パネルに関する。

【背景技術】

【0002】

従来より、建物の制震性能を向上させるために、様々な提案がなされている。例えば、特許文献 1 では、パネル本体と、制震材を備え、柱とともに躯体の開口部を構成する上側の梁と対向するパネル本体の上側の辺には制震材を装着すると共に、下側の梁の 2 箇所左右方向に間隔をおいて位置して柱および梁を含む面内におけるパネル本体の回動を許容するべくパネル本体を支持する本体受けを設け、本体受けにパネル本体の下側の辺を載せてパネル本体を開口部に回動可能な余裕をもってはめ込んだ状態において上側の梁との間で制震材を挟み込むことを特徴とする制震パネルが提案されている。

20

【特許文献 1】特許第 3 3 8 3 5 9 1 号広報

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0003】

しかしながら、上述の方法は、制震パネルの取り付けに高度な施工技術や経験を要するため、技術の低い者や未経験者が施工した際、機能に不具合が生じるなどの問題点を有していた。

30

【0004】

本考案は、上記従来有する問題点に鑑み、木造建築物の壁面構造に使用される制震パネルに関し、高度な技術を必要とすることなく、現場で建物の軸組内空間にはめ込むだけで容易に施工できる制震装置一体パネルを提供しようとするものである。

【課題を解決するための手段】

【0005】

本考案の制震装置一体パネルは、構造用単板積層材製の方形枠状の外周フレーム、及び制震装置、を有する制震装置一体パネルにおいて、この外周フレーム 1 の左右一对の縦枠それぞれの内側面全長に構造用単板積層材製の角材を密着した制震装置取り付け部 2 を設け、さらに該外周フレーム 1 の上下一対の横枠の中央部間に構造用単板積層材製の角材を縦に渡して中柱 3 を設け、粘弾性体固着部を有した面状鋼板製の 3 基の制震装置 4 を、前述外周フレーム 1 内に設けた左右の制震装置取り付け部 2 及び中柱 3 に、該横枠と平行になるよう上下に並べてそれぞれを設置しネジで固定して備え付け、外周フレーム 1 と制震装置 4 が一体に備わることを特徴とした。

40

【考案の効果】

【0006】

本考案によれば、構造用単板積層材と粘弾性体固着部を有した面状鋼板製の 3 基の制震装置の組合せが高い制震性能を発揮すると共に、これらを一体化したパネル構造により、現場での高度な技術や複雑な作業を必要としない取り付け施工が期待できる。

【考案を実施するための最良の形態】

50

【0007】

以下、本考案の実施の形態について、図面を参照して説明する。

図4に示すように、本考案の制震装置一体パネルは、構造用単板積層材製の方形枠状の外周フレーム、及び制震装置、を有する制震装置一体パネルにおいて、この外周フレーム1の左右一対の縦枠それぞれの内側面全長に構造用単板積層材製の角材を密着した制震装置取り付け部2を設け、さらに該外周フレーム1の上下一対の横枠の中央部に構造用単板積層材製の角材を縦に渡して中柱3を設け、粘弾性体固着部を有した面状鋼板製の3基の制震装置4を、前述外周フレーム1内に設けた左右の制震装置取り付け部2及び中柱3に、該横枠と平行になるよう上下に並べてそれぞれを設置しネジで固定して備え付け、外周フレーム1と制震装置4が一体に備わることを特徴として成し、木造建築物の躯体に固定して壁面構造に用いられる。

10

【図面の簡単な説明】

【0008】

【図1】 本考案に於ける制震装置一体パネルの外周フレームの正面図である。

【図2】 図1に制震装置取り付け部と中柱を加えた正面図である。

【図3】 本考案に於ける制震装置一体パネルの制震装置の配置図である。

【図4】 本考案に於ける制震装置一体パネルの実施例を示した正面図である。

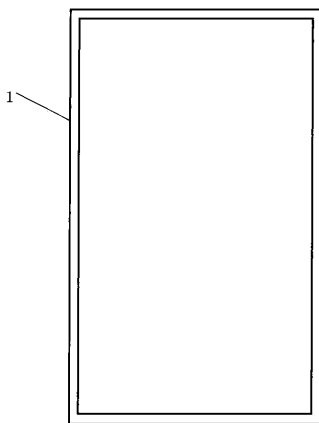
【符号の説明】

【0009】

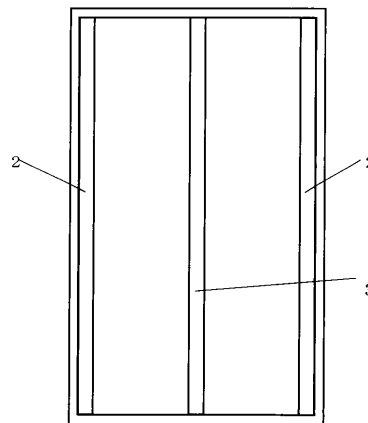
- 1 外周フレーム
- 2 制震装置取り付け部
- 3 中柱
- 4 制震装置

20

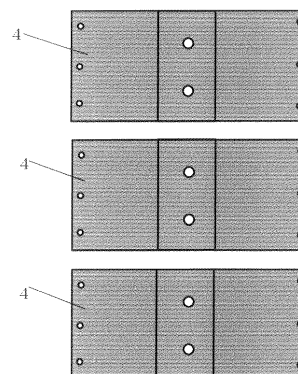
【図1】



【図2】



【図3】



【図 4】

